

令和３年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、図書館法第７条の３に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成２６年度から図書館事業評価を行っています。令和３年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成３１年２月２３日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「第２期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成３１年３月３１日付けで決めました。基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、今後の課題・取組等について図書館により自己点検・評価を実施します。また、この自己点検・評価を踏まえ図書館協議会委員から外部評価を得ます。その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

１．点検及び評価の目的

- ・ 基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。

２．評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、指標に係る数値目標により３段階の評価基準で評価を実施します。また、図書館協議会委員から外部評価を得ます。

実績は１２月末現在の数値に３月末までの推計を含めて算出します。

- ・ 評価基準（端数切捨て）

A…達成した（９０％以上） B…ほぼ達成した（８９％～６１％）

C…達成できなかった（６０％以下）

令和3年度河内長野市立図書館事業計画 主な取組実績及び自己点検

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 1	読書活動を推進し、市民の読書習慣の定着化を促進します。			
	（１）市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。	①図書館の蔵書の充実 ②図書館利用の促進 ③魅力のある資料の収集	「河内長野市立図書館収集方針」（令和2年9月1日改定）及び「河内長野市立図書館蔵書整備計画」（平成28年4月1日策定）に基づき、蔵書整備計画予算配分表を毎年度作成し、計画的な資料の収集を行っています。 ①１年間の受入冊数（図書館） 12月末実績 9,142冊 3月末実績（推計） 9,660冊 ②図書館利用者数 12月末実績 314,234人 3月末実績（推計） 421,273人 ③市民１人当たりの貸出冊数 12月末実績 5.0冊 3月末実績（推計） 6.7冊	①１年間の受入冊数は、予算削減の影響で昨年度の冊数から減っています。その中でも、今度とも魅力ある良質な資料構成を目指して、ネーミングライツによる歳入を活用し資料の更新と充実を進めていきます。 （ネーミングライツ（命名権料）の内訳） 令和2年1月1日～6年12月31日 初年度 50万円＋物品393,340円 次年度以降 年額70万円 また、英語多読資料の整備を引き続き進め、より一層の利用促進を図ります。 英語多読コーナー蔵書冊数 12月末実績 1,777冊 英語多読コーナー貸出冊数 12月末実績 8,235冊 ②来館、非来館を問わず前年度より回復傾向にあります。今後も、図書館に来館しづらい高齢者や障がい者を含めて、どのような方でも使いやすい図書館サービスの充実に努めます。 ③臨時休館中（4月25日から6月20日）は、個人利用者に関しては館内閲覧をお断りしていたものの、予約資料の貸出や貸出延長を実施しました。その影響もあり、貸出冊数は例年より減少していますが、今後も市民の読書要求に応えられるよう、蔵書の充実に努めていきます。
	（２）市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館図書室や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。	①市内全域への図書館サービス ②公民館図書室の蔵書の充実 ③自動車文庫の蔵書の充実	公民館図書室８ヶ所、自動車文庫ステーション23ヶ所のサービスポイントを活用し、利用者の利便性の向上と資料提供に努めました。 ①図書館と公民館図書室との相互貸借冊数 12月末実績 40,838冊 3月末実績（推計） 54,451冊 ②公民館図書室の蔵書整備冊数 12月末実績 898冊 3月末実績（推計） 930冊 ③自動車文庫の蔵書整備冊数 12月末実績 363冊 3月末実績（推計） 530冊	①コロナ禍においても、予約資料を最寄りの公民館図書室や自動車文庫サービスポイントを利用して受け取るなど、図書館ネットワークが有効に活用されており、例年と変わらない相互貸借冊数となっています。 ②③今後とも市内全域にサービスできるよう継続した資料整備を行っています。今年度は、総合百科事典「ポプラディア」（ポプラ社）の第3版が出版され、買い換えたため、公民館図書室の蔵書整備冊数は減っています。
	（３）市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機を活用するなど利便性の向上に努めます。	①自動貸出機の利用促進	①自動貸出機による貸出冊数割合 12月末実績 19.5％ 3月末実績（推計） 19.7％	自動貸出機の利用状況は、12月末現在、利用人数21,159人、貸出冊数98,181冊でした。臨時休館（4月25日～6月20日）の影響で例年より利用者数が減っています。平成29年6月の導入以来一定の割合で利用されています。利用に不慣れな利用者もいることから、今後も、より利用しやすいようサポートしていきます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針2	市民との協働を推進するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与します。			
	（４）ボランティア活動の充実を支援し協働を推進するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。	①ボランティアとの協働を推進	①開催講座数、ボランティア活動のべ参加人数 開催講座数 12月末実績 1講座 5回 3月末実績（推計）3講座 9回 ボランティア活動のべ参加人数 12月末実績 227人 3月末実績（推計） 300人	①すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座参加者のうち、図書館で活動するボランティアに新たに加入予定2名（おはなしパレット1名、子どもと本の連絡会1名）。子どもと本をつなぐ活動に関する講座についても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、開催できました。 図書館で活動いただいているボランティアについては、児童サービスではおはなし会等で一部活動できましたが、えほんのひろば、ようこそえほんといっしょ（乳幼児健診での読み聞かせ）などでは新型コロナ感染拡大防止のために活動をご遠慮いただきました。障がい者サービスでは、さわる絵本・布の絵本の制作はしましたが、対面朗読、福祉施設の訪問などは中止となりました。ヤングサービスでは高校生ボランティア（本の配架や修理等）などが活動できました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、様々な図書館事業にボランティアとして参画いただいています。
	（５）生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施して交流人口の拡大を進めます。	①広域相互利用の推進	①14市町村広域登録者数 12月末実績 8,190人 3月末実績（推計） 8,268人	①市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。（14自治体：大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市）
	（６）地域課題の解決に向けて、様々な分野で活動しているボランティア団体のチラシを配架することで情報発信を支援し、またボランティア活動への参加を促進して、地域活性化を図ります。	①ボランティア団体の情報発信を支援	①社会福祉協議会主催事業等のチラシ配布数 12月末実績 786枚 3月末実績（推計） 1,048枚	①河内長野市社会福祉協議会内のかわちながのボランティア・市民活動センターとの連携によりちらしを配布しています。 今後も、図書館資料の展示を行うなど、積極的な情報発信や情報提供を行っていきます。 なお、チラシは地域活動の意義をより一層強く発信するために、SDGs持続可能な17の開発目標に区分して配架しています。
基本的運営方針3	子どもたちに多様で豊かな読書環境や学習機会を提供するため、学校、地域、家庭との連携を図ります。			
	（７）「河内長野市第4次子ども読書活動推進計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。	①子どもたちの図書館利用の推進 ②図書館と学校との連携 ③学校等での本に親しむ機会の提供	①0～18歳の図書館登録者率 12月末実績 47.8％ 3月末実績（推計） 47.3％ ②図書館から小中学校への団体貸出冊数 12月末実績 4,201冊 3月末実績（推計） 5,601冊 ③えほんのひろば参加者数 12月末実績 3,023人 3月末実績（推計） 3,670人	①利用者登録について、校長会、教頭会にもお願いして学校を通じて中学一年生に登録の機会を設ける取り組みは令和3年度は中止しました。学校司書連絡会などで電子書籍の利用案内をし、図書館利用のPRに努めました。 ②学校専用の資料である「学校支援用図書」の整備等、継続した資料整備に努め、言語力向上司書とも連携しながら子どもの読書環境の整備を進めます。 令和元年度から、学校支援用図書の予約を30冊から100冊に拡大しています。 ③「えほんのひろば」については、令和3年度、学校での開催案内を再開し、12の小学校で開催しました。 それ以外の大阪府立花の文化園、夏休み子ども教室、河内長野市立子ども子育て総合センターでの開催は見合わせました。8月22日に英語村フェスタでの開催ができました。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 4	図書館機能の充実を目的に、児童サービスやレファレンスサービスほか各種サービスの向上を図ります。			
	（８）子どもたちの読書活動の推進を図るため、ボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。	①定期的なおはなし会等の子ども向け行事の実施	①おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数 12月末実績 48回、467人 3月末実績（推計）67回、550人	①英語のおはなし会（5月23日15時～＜中止＞、7月18日15時～ 18人参加、1月30日15時～、3月13日15時予定 いずれも日曜日） 新型コロナウイルス感染拡大防止による中止があったため、年間86回開催予定のところ、12月末現在で48回の開催となりました。水曜日のおはなし会について、子ども連れの保護者の来館が見込めない状況が続いているので、今後の開催について検討中です。
	（９）地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。	①団体貸出の利用促進	①資料配送件数、資料配送冊数 12月末実績 277件 12,164冊 3月末実績（推計） 369件 16,219冊	①臨時休館中（4月25日～6月20日）も団体については本を選び借りることができたことと、地域の幼稚園や保育所、福祉施設にバック貸出しを行ったことから、資料配送の利用は順調に伸び、子ども達の読書環境の整備に努めることができました。
	（10）インターネット端末席の設置や、メールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などITを活用した図書館サービス機能の充実を進めます。	①館内のインターネット利用環境の整備 ②インターネットを使った情報発信 ③電子書籍の利用促進	①インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数、国立国会図書館が提供するデジタル化資料の年間利用回数、W i - F i利用登録者数 端末席利用者数 12月末実績 445人 3月末実績（推計） 644人 デジタル化資料利用回数 12月末実績 5回 3月末実績（推計） 7回 Wi-Fi利用登録者数（累計） 12月末実績 1,378人 3月末実績（推計） 1,411人 ②レファレンスデータベースの公開件数、メールマガジン発信数 レファレンスデータベース 12月末実績 0件 3月末実績（推計） 1件 メールマガジン 12月末実績 11件 3月末実績（推計） 14件 ③電子図書館ログイン数 12月末実績 6,614人 3月末実績（推計） 8,279人	①インターネット・オンラインデータベース端末利用や、それを使うデジタル化資料送信サービス、そしてWi-Fi利用は、臨時休館（4月25日から6月20日）、滞在時間や利用の制限もあり、利用は限られている状況です。近隣他市へのPRも行い、利用の一層の促進を図ります。 ②レファレンスデータベースの事例公開は今年度1件を予定しています。郷土に関する事例を精査し、過去の公開事例の見直しも進め、利用者の課題解決の支援に努めます。電子図書館において「広報かわちながの」など河内長野市独自資料の公開、YouTube歴史講座の配信にも努めました。またメールマガジンでは図書館の開館状況を随時お知らせするなど、図書館情報の発信源として配信を行っています。 ③非来館型サービス、高齢者や障がい者サービスの充実に向け、令和2年9月に電子書籍を導入しました。今後も充実に努めます。 電子書籍の若年層の利用者が少ないため、市内の高等学校にて生徒にIDを配付して利用してもらおう交渉を進めるなど、利用促進に努めます。 また、臨時休館中（4月25日～6月20日）に市内在住者・通勤・通学者を対象に利用者カードがなくても電子書籍が利用できるように申請者に対して臨時IDを発行し、利便性向上に努めました。 電子書籍蔵書冊数 12月末実績 9,511冊 臨時ID発行数 4月25日から6月20日 17件

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	(11) 図書館の利用に困難がある市民に対して、その理由や程度に応じた資料を量的拡充・質を向上させるとともに、誰もが利用しやすい環境づくりを進めます。	①録音図書等の整備 ②サピエの活用 ③読書媒体や端末機器の情報入手に関する支援 ④郵送貸出サービスの実施 ⑤福祉施設へのサービスの実施 ⑥認知症にやさしい図書館の推進	①録音図書の新規受入数 12月末実績 35タイトル 72点 3月末実績（推計） 48タイトル 85点 ②録音図書の他館借受・ダウンロード数 12月末実績 870タイトル 1,033点 3月末実績（推計） 1,160タイトル 1,377点 ③マルチメディアデイジー上映会等回数 12月末実績 2回 3月末実績（推計） 2回 ④録音図書の郵送貸出件数 12月末実績 166件 525点 3月末実績（推計） 221件 700点 ⑤福祉施設への団体貸出利用数 12月末実績 1,652冊 3月末実績（推計） 2,203冊 ⑥まちかどカフェ（認知症カフェ）参加者数 12月末実績 52人 3月末実績（推計） 69人	①活字による読書が困難な方に、録音図書を提供しています。 ②サピエを活用し、全国の点字図書館等が所蔵する録音図書を借受またはダウンロードすることにより、自館が所蔵していない録音図書を提供しています。 ③マルチメディアデイジーの普及を目指し、また図書館で貸出しできることをPRするため、上映や体験会を行っています。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、花の文化園等のイベントは中止となりました） ④活字による読書が困難で、かつ来館するのが困難な利用者に対して、録音図書の郵送貸出サービスを行っています。 録音図書以外の郵送貸出は以下のとおりです。 臨時休館中（4月25日～6月20日実績） レターパックでの郵送 6人 8冊 着払いによる郵送貸出（12月末実績） ゆうパックでの郵送 1人 5冊

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発や活用を図ります。				
基本的運営方針 5	(12) 郷土歴史資料の普及啓発や活用を図るため、関連講座及び資料の展示等を行います。	①郷土歴史資料の活用	①開催講座数 12月末実績 2講座（6コマ） 3月末実績（推計）2講座（6コマ）	①古文書講座の関連展示をはじめ、令和2年度に修復した江戸期の当市域に関する重要資料である野村家文書の展示も実施しました。令和3年度は神奈川県立歴史博物館をはじめ、展示のための資料の貸出しも2件ありました。今後も展示や貸出し等を通じ、郷土歴史資料の普及啓発や活用を図ります。 講座は、古文書講座（初歩の初歩3コマ・入門編3コマ）各1講座、歴史講座2講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う非来館対応も鑑み、歴史講座は新たにYoutube歴史講座に改変し実施しました。これにより市民への啓発だけでなく市の魅力発信にも貢献しています。今後も継続して郷土歴史資料を活用した講座を行っていきます。 金剛寺・観心寺などに伝来の古文書資料を大学の協力のもとデジタル化して図書館内で公開し、市内の民話や広報かわちながなどの郷土行政資料を電子図書館で閲覧できるようにしています。
図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。				
基本的運営方針 6	(13) 図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座（資料の探し方等）を開催します。また、利用者の知的好奇心を刺激するような、多様なテーマに沿った展示を行い図書館資料の活用につなげます。	①課題解決に役立つ講座の開催 ②図書館資料を活用した展示	①開催講座数、参加者数 12月末実績 4回（59人） 3月末実績（推計）6回（104人） ②テーマ別展示数 12月末実績 51回 3月末実績（推計）65回	①小学生に図書館での資料の探し方を教える「図書館マスター」2講座（小学3～6年生対象）、生活に役立つ図書館講座2講座（英語多読、知っておきたい！キャッシュレス）を開催しました。生活に役立つ図書館講座はあと2講座（創業計画2/20、英語多読3/6）実施予定。 ②臨時休館中（4月25日～6月20日）を除き、毎月または随時、一般向け、児童向け、ヤング向けの各テーマ展示や、他課の講座・イベント等と連携した展示など、様々な切り口で積極的に行っています。 今後も図書館資料の利用促進のため、講座や展示を継続して行っていきます。 電子図書館においても、「電子図書館だより」（月刊）の作成や、様々な特集を組んで電子書籍の効果的な紹介を行い、利用促進を図ります。
図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。				
基本的運営方針 7	(14) 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。	①研修への参加 ②職員の接遇能力の向上	①研修（館外）数、研修参加者数 12月末実績 26講座 118人 3月末実績（推計）30講座 143人 ②利用者の職員対応満足度（5段階評価） 12月末実績 4.4 3月末実績（推計）4.4	①文部科学省や大阪公共図書館協会等が主催する図書館員向け研修に、職員を参加させています。今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどが動画視聴やオンライン開催など非接触に配慮した方式となりましたが、状況を見ながら配信と集合を組み合わせた研修もありました。勤務年数や経験年数を考慮し、必要な研修にできる限り多く参加できるように努めました。 ②利用者の職員対応満足度は、図書館アンケートにより5段階評価で平均4.4であり、今後も職員の接遇の向上に努めます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 8	コンプライアンスを推進し、安全で安心な図書館の読書環境を維持します。			
	(15) 市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。	①良好な読書環境の維持	①マナー向上啓発回数 12月末実績 2回（7月・10月 落書き防止） 3月末実績（推計）3回（2月実施予定 水濡れ防止）	①図書館入口にて、落書き防止を呼び掛けるポスターの掲示を2回、水濡れ防止を呼び掛けるポスターの掲示を1回行いました。今後も図書館資料を守り、利用者マナーの向上を図るための啓発活動を行っていきます。 利用者の安全で安心な読書環境を維持するため、図書消毒機（2台）を導入し利用者に供するほか、職員による返却資料の表紙の消毒を継続して行っています。
	(16) 危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめAED講習や防犯講習等を実施します。	①職員の危機管理能力の向上	①防火訓練等実施回数 12月末実績 3回 3月末実績（推計）4回 実施内容 （実施日） ・大阪880万人訓練 予行演習 8/2 ※9/3の本番訓練は中止 ・自衛消防訓練 8/9 2/7（予定） ・応急手当に関する研修（動画視聴）11/16～	①自衛消防訓練等を施設の関係者と合同で行いました。複合施設にあることを踏まえ、関係機関との連携を図り利用者の安全安心の確保に努めます。 大阪880万人訓練は、本番当日、大阪に大雨警報が発表されていたため中止となりました。 救命講習については、例年はAEDの使用方法や心肺蘇生などの救命措置の実技講習を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画視聴で応急手当について学びました。

第2期事業評価 数値目標

方針 の番 号	指 標		30年度 (参考)	元年度 (参考)	2年度 (参考)	令和3年度実績及び自己評価 ※年度実績は、12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて 算出 A(90%以上) B(89~61%) C(60%以下)		
1 ・ 5 ・ 6	1年間の 受入れ冊数	購入冊数+寄 贈冊数(冊)	14,261	13,845	12,963	目標値	12,000	自己評価・・・A (目標に対し、 92.7% 達成)
						実績値	11,120	
	図書館 利用者数	(人)	584,998	563,008	382,399	目標値	400,000	自己評価・・・A (目標に対し、 105.3% 達成)
						実績値	421,273	
	市民一人当 たりの貸出冊数	貸出冊数÷人 口(冊)	9.8	9.2	6.4	目標値	7	自己評価・・・A (目標に対し、 95.7% 達成)
						実績値	6.7	
	登録者率	登録者数÷人 口(%)	42.9	45.8	39.3	目標値	40	自己評価・・・A (目標に対し、 102.0% 達成)
						実績値	40.8	
2	広域登録者の 占める割合	広域登録者÷ 登録者(%)	15.6	16.0	16.2	目標値	16	自己評価・・・A (目標に対し、 102.5% 達成)
						実績値	16.4	
3 ・ 4	0～18歳の図 書館登録者率	0～18歳登録 者÷0～18歳 人口(%)	47.1	49.1	48.4	目標値	50	自己評価・・・A (目標に対し、 94.6% 達成)
						実績値	47.3	
	学校との連携	図書館から小中 学校への団体 貸出冊数 (冊)	6,883	6,344	3,559	目標値	6,000	自己評価・・・A (目標に対し、 93.4% 達成)
						実績値	5,601	
7 ・ 8	利用者の職員 満足度	5段階評価	4.4	4.5	4.4	目標値	4以上	自己評価・・・A (目標に対し、 110.0% 達成)
						実績値	4.4	

図書館関係統計 (参考)

		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
図書館、自動車文 庫、公民館の蔵書 冊数	3月31日現在 (冊)	487,475	493,467	502,137	505,277	504,802				
登録者数	3月31日現在 (人)	39,165	42,299	45,227	47,608	48,983				
貸出冊数	年度実績(冊)	1,078,752	1,041,706	1,028,992	961,936	767,209				
登録者1人当 たりの貸出冊数	貸出冊数÷登 録者(冊)	27.5	24.6	22.8	20.2	15.7				
人口	3月31日現在 (人)	107,963	106,713	105,377	104,031	102,920				
職員数 (うち司書)	3月31日現在 (人)	28 (21)	27 (21)	27 (21)	26 (21)	32 (27)				
資料費	当該年度決算 見込(円)	26,413,891	26,356,725	26,080,913	27,055,769	24,884,216				
開館日数	3月31日現在 (日)	332	330	296	277	260				

令和3年度河内長野市立図書館事業計画に対する図書館協議会委員による外部評価

○基本的運営方針1 事業計画(2)について

・学校支援用図書に百科事典があると仰っていたのですが、その百科事典は学校に貸し出してもらってもできるのですか。今タブレットが1人1台渡されるようになって、もう調べ学習が図書室に行くのではなく自分の座席で全部調べられるという時代になっています。でも私は本は大事だと思っているので、そういうのがあるというのを職員がまず知らないのではというような気がして、そのへんを職員に言っていくというのが学校として大事なかなと思いました。

・百科事典や学校支援用図書は言語力向上司書の先生が借りに行ってくださいっているんですね。言語力向上司書が学校の教員にどれだけ情報を発信しているかということになるんですね。

・この委員をするようになって他の市の広報などを見たりするんですが、自動車文庫が小学校に行っているのを見たことがあるんです。学校図書室には本はあるけれども、私の住んでいる地域で言うと、小学生が学校が終わってから公民館図書室まで本を借りに行くという流れは今ないように思うんです。学校の授業も4時頃まであるし、子ども達もすぐ帰るし、習い事もあったりして。もし図書館が自動車文庫で学校に来てくれる環境ができるのであれば、もうちょっと本に触れあうことも多くなるのではないかと思います。大変だとは思いますが、学校への巡回をしている図書館もあるなと思いました。

・自動車文庫は23ステーションで、2週間に1回の巡回ですよ。たぶんひと月に1回では足りないのではそのペースになるんだと思うんです。自動車文庫で学校や病院、中には少年院や刑務所に行くところもあるにはあります。ただ自動車文庫の車両の台数とステーションの数と、2週間に1回というペースで、どういうプログラムが組めるかと思うと、ちょっとしんどいかなと思います。でも要望が多かったらまた検討しなければいけませんね。

○基本的運営方針1 事業計画(3)について

・自動貸出機で困っているとすぐに図書館の人が来てくれて教えてくれるんです。本を探していてもすぐにどこにあるか教えてくれて、昔に比べるとフットワークが軽いように思います。だから遠慮はせずに、カウンターに利用者が並んでいたら自動貸出機で自分でできますよ、一緒にしてみようかと声をかけてもらえれば、自動化がもっと進むのではないかと思います。人件費という面からでも、もっと自動貸出機に誘導してもらえればと思いました。私もそうですが、年をとると今までできなかったことができるようになるだけでも嬉しかったです。

○基本的運営方針4 事業計画(8)について

・おはなし会のプログラムを作る時に、他市図書館のプログラムを参考に見ることがあるのですが、ホームページに1月、2月とプログラムをまとめて載せていたりするんです。おはなし会をしていますというPRはすごくしてくださっていてありがたいのですが、こんなのをしましたという報告というか、皆さんに見ていただけるようなものがあれば、こういうのをしているなら見に行こうかなとか、こういう本を読めば子ども達が喜ぶのかと保護者の方に見てもらえるのではないかなと思ったりしました。

・図書館のホームページは文字が多くて、知りたいことをクリックすると見たい情報は出てくるのですが、やはり娘世代からするとちょっと敷居が高いとか見にくいとか堅苦しいようなんです。もっと見やすいYouTube的なもので、おはなし会の様子をちょっと見られたり、子ども達の楽しい顔が見られることで、行ってみたいな、こういう絵本を子どもに読んであげたいなと思ったりすることもあると思うんです。図書館の生の様子を来てみて感じる前に、こんなところなら行ってみたいなと思える情報をもっと流して興味を持ってもらうのもいいのではないかなと思いました。

○基本的運営方針4 事業計画(9)について

・放課後児童会とか小学校とか、幼稚園や保育所にも団体貸出をしていますよね。団体貸出をする時にどうやって本を選ぶかというのが、その借りに来た人の力量に合ったものを選ばれているような気がするんです。だからお薦めの本のような、こんなのを読んだらいいよというのを図書館がまとめて配っていただければ、子ども達が好きな本ではない本も手に取って見ることで、世界が広がっていくのではないかなと思います。

○基本的運営方針6 事業計画(13)について

・図書館に来た時に児童書のコーナーに行くことが多いのですが、コロナが落ち着いた頃に椅子が出ているのか様子を見に2階に上がったたら、「大人だって楽しい！絵本・児童文学」のコーナーがありました。知っている本も多かったのですが、絵本ではなく児童書があって、図書館が薦めているなら手に取って借りてみようかなと思って読んだのですが、視野が広がってすごくいいなと思いました。

・2階には「本日返された本」の棚があるんですね。大人でも気に入った作者の本ばかりを読んだりして、読む本が偏ってしまうんです。でもこの返却本の棚で他の人が借りられていた本を読むと、この人はこんな本も書いていたのかというような発見もあり、そこからまた広がっていきます。「大人だって楽しい！絵本・児童文学」の棚では、私達が読んでも結構面白いと思える本もあったりして、昔の図書館から思えば今は随分工夫されているなと思います。

○基本的運営方針8 事業計画(16)について

・図書館の危機管理についてお尋ねします。この事業計画では感染防止対策を取り組まれていることがよくわかるのですが、図書館の運営について我々でいう事業継続計画BCPはどのようなのでしょうか。

⇒委員の仰るとおり、優先順位を考え事業継続計画を立てなければなりません。その場合やはりカウンター業務は最優先だと考えていますので、おはなし会を休止するなど業務の優先順位としての判断はあります。